

就職支援室（キャリアセンター）を設置

学長補佐（就職担当） 岡澤 祥訓

■希望する職につけるように

本年四月に学生の就職活動を支援するために就職支援室（キャリアセンター）を設置しました。この室という概念は教員、事務職員が協力して運営するシステムであり、室員会議で決定された内容は速やかに実行することが可能になっています。すなわち、機動性に富んだ組織です。この特徴を活かして、一人でも多くの学生が希望する職につけるように積極的に活動を行っていきます。

就職支援室では、就職意識の啓発、教員採用率のアップ、企業就職活動の支援、学生ボランティア活動の推奨という大きくは四つの目標を掲げています。

就職意識の啓発・醸成に資するための取り組みとして、来年四月から教養教育としてのキャリア教育を開講するための準備を行っています。来年度から開講されるこの授業は河崎先生が担当してくれることが決まり、準備は順調に進んでいます。

教員採用率のアップに関しては、十一月二十四日から教員採用試験の現役合格を目指して、教員採用試験支援プログラムを実施します。学校教育課程では講師も含めてですが、今年三月卒業生の五九・七％が就職に着いています。今年度の教員採用試験の結果は、全体としては把握できていませんが、奈良県では学部の現役受

験生の四四・四％が合格しています。大阪府や市、兵庫県、京都府や市等の近畿圏では教員採用人数は飛躍的に伸びています。ここ十年はこのような状況が続くと言われています。努力すれば合格できる状況であると思います。

学校教育教員養成課程の学生の殆どは就職を目指しますが、総合教育課程では企業就職を目指す学生も多くいます。この企業就職に関する支援は、企業就職支援のプロを講師に迎え、プログラムを始めています。現在既に三回が終了しましたが、約百名が真剣に受講しています。就職先の開拓も就職支援室の重要な仕事です。今年度は従来の企業訪問に加えて、総合教育課程の学生のニーズに合った企業開発も行う予定です。

大学院生に関しては、個人的な就職支援が必要であると考え、院生に就職に関する調査を実施し、その結果を基に担当教員に面接を行ってもらう予定です。

卒業生の就職支援も卒業後3年間は行う予定でいます。具体的には、就職支援室が主催する教員採用試験支援プログラムや企業就職支援プログラムへの出席の

権利を与えること。就職情報を現役学生と同じように利用することができるようにすることが室員会議で決定されています。

■学生ボランティアなども

就職支援室では以上のような就職支援だけではなく学生ボランティアやインターシップのサポートを行っています。就職支援室がサポートしている学生ボランティアは始まったところですが、それでも現在サポートしている学生ボランティアとして、奈良市に百六人、郡山市に八人、奈良県に六人、大阪府に三人が参加しています。

また、効果的な就職支援を行うために、室員も研修に努めています。教員採用試験の支援に関しては、兵庫教育大学の高田先生、企業就職支援に関しては和歌山大学の本庄先生を迎えて研修を行いました。

このように就職支援室は立ち上がったばかりですが、学生が希望する就職ができるように、頑張っています。

